

# 架け橋

御所浦分署・新和分署の落成式を行いました



## 主な内容

- 熊本地震から1年・御所浦・新和分署落成式…………… 2
- 平成28年中の火災・救急の概要…………… 3
- 計量方法が変わりました・ベール品質検査 …… 4～5
- 紙パック類の分類・予防課からのお知らせ …… 6～7
- 平成29年第2回臨時会・北消防署指揮車配備…………… 8

2017.6

第38号

# 熊本地震から1年、非常時の備えを！

最大震度7を2度記録した平成28年熊本地震から1年が経ちました。現在もなお、熊本地震による爪痕が各地で残されています。

また昨年度は、天草管内においても大雨による土砂災害、浸水被害が発生しています。

非常時に備え、食料品・水などの備蓄、非常用持ち出しバックの準備、避難場所や避難経路の確認をお願いします。

## 非常用持ち出しバックの内容の例

- ・飲料水
- ・食料品(カップめん、缶詰、ビスケット等)
- ・貴重品
- ・救急用品(ばんそうこう、包帯、消毒液等)
- ・ヘルメット、防災ずきん
- ・マスク
- ・懐中電灯
- ・衣類、下着
- ・毛布、タオル
- ・携帯ラジオ、予備電池
- ・携帯電話の充電器
- ・使い捨てカイロ
- ・ウェットティッシュ
- ・携帯トイレ
- ・軍手



乳児のいる家庭では、  
ミルク・紙おむつ・ほ乳瓶なども！

## 中央消防署 御所浦・新和分署 落成式

平成29年3月、両分署の庁舎落成式が執り行われました。関係者出席のもと式典及びテープカット、式典後には餅投げも行われ、多くの住民の方に参加していただきました。

今後も、防災拠点としての機能を十分に発揮し、住民の生命、身体、財産を守り、安心、安全な暮らしを支えていきます。



▲新和分署落成式の様子



▲御所浦分署落成式の様子



# 救急件数が5,895件、火災件数は40件

## ＝平成28年中の火災・救急の概要＝

※( )は今年の件数

消防本部警防課では、天草管内における平成28年中の火災、救急の概要【確定値】をまとめました。

■**火災件数** は、前年より16件減の40件（56件）となりました。

種別で見ると、「建物」火災が22件（31件）、枯草やごみ等が燃える「その他」火災が15件（16件）、「車両」火災2件（5件）、「林野」火災1件（2件）、「船舶」火災0件（1件）、「航空機」火災0件（1件）となっています。

火災による死者は、1人（4人）、傷者は5人（10人）でした。

出火原因の主なものは、枯草火災等の種別に分類される「たき火」が12件で最も多く、「こゝろ」が5件、「放火、放火の疑い」が4件、「たばこ」が3件と続いています。いずれも屋内外における火気取扱いの不注意が大部分を占めています。

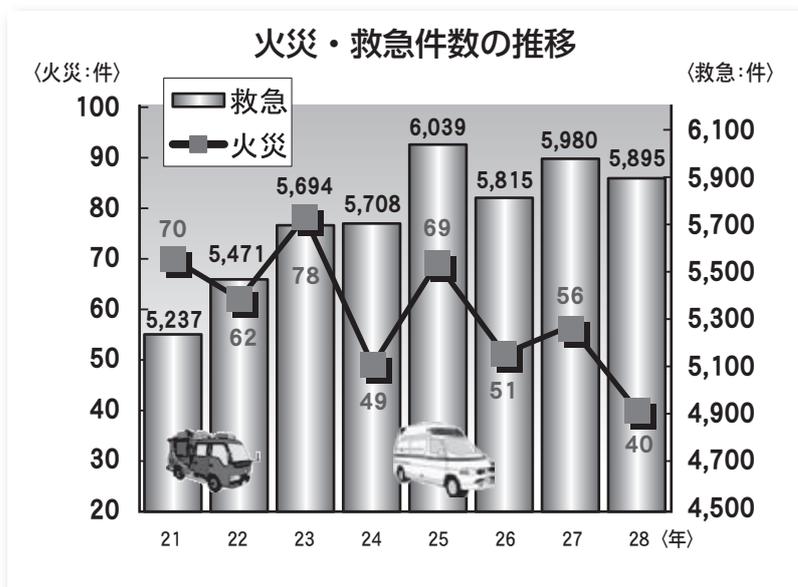
■**救急件数** は、5,895件（5,980件）発生し、前年より85件の減少となりました。

種別の上位は急病が3,533件（3,445件）、一般負傷が962件（891件）、転院搬送等が784件（943件）、交通事故が407件（474件）の順であり、急病が全体の59.9%（57.6%）を占めています。このうち夏の猛暑の影響による熱中症（疑い含む）は110件（100件）ありました。

傷病の程度別で見ると、中等症が最も多く52%（45%）、入院を必要としない軽症が46%（40%）、重症が2%（13%）、その他0%（2%）となっています。

搬送人員は、5,277人で年齢構成別に見ると65歳以上の高齢者が3,746人（3,724人）で全体の約71%（70%）を占め、全国平均56.7%（平成27年統計）と比較するとかなり高く、管内における高齢化・核家族化の影響がうかがえます。

■**ヘリの出動件数** は、106件（94件）と昨年より12件増加しています。病院間搬送での出動件数が50件（40件）、救急現場付近へ直接出動した件数が56件（54件）となっており、救急現場から搬送された傷病者のうち8件（16件）は天草管内の医療機関に搬送されています。



▲熊本県防災消防ヘリ



▲ドクターヘリ

# 本渡地区清掃センター 計量方法が変わりました

本渡地区清掃センターの渋滞緩和対策として、計量器を増設し、今年度4月より供用を開始しました。

これまで、搬入車両の増加により平日でも渋滞し、ごみを降ろしてから帰るまでにかなりの時間を要しておりましたが、増設後は搬入される皆様より「搬入して帰るまでの時間が短くなった」との声も聞かれ、順調に稼働しております。

※搬入受付してからのコースが変わりましたので、センターを利用される時は、係員の指示に従って安全運転（徐行）でお願いします。



中央建屋が計量棟

- 左側が搬入時受付用
- 右側がごみを降ろした後の計量受付用

▲センター正門側から撮影

ごみを降ろした後は、増設した計量台に乗って計量、精算してからお帰りください。



▲プラットフォーム側（帰り方向）から撮影

# プラスチック製容器包装の ベール品質検査が実施されました

平成29年4月20日に、プラスチック製容器包装のベール品質検査が実施されました。ベール品とは、廃プラスチック類などを圧縮し梱包したものを言います。

この検査は、ベール品質の向上と資源化推進のために実施されており、ベール品の中にライター等の異物が混入していないか等の検査を行っています。今回の検査においては、各市町の取組みと皆様のご理解とご協力により、良好な結果（Aランク）でありました。

今後も継続して分別をしていただきますようお願いいたします。

## ◆ベール品質検査状況



▲搬入されたベール品のうち10個中3個をサンプリング



▲バラバラにして手選別で分類



▲選別した該当品目以外のものを分類ごとに区分

**⚠ 注意していただくこと!!**



出すときは、袋から出してバラバラにしてください。危険品として、ライター、カミソリ、ガラス類などは入れないでください。

## ◆品質検査の評価基準等

評価基準…異物を取り除いた後の容器包装の割合

評価A：90%以上

評価B：85%以上90%未満

評価D：85%未満

評価Aの団体には、リサイクル協会から再商品化合理化拠出金（リサイクル配分金）が交付され、ごみ処理に係る経費に活用されています。

※評価Dになると再調査対象となり協会の引取りが出来なくなります。

# 紙パック類の分別について

資源物として紙パック類を収集しておりますが、種類によってはパックの内側にアルミのコーティングがしてあるものがあります。

これらは、燃やせないごみで出して頂きますようお願いいたします。

◆紙パック類 牛乳、お酒、スープなどの飲料類に多く使われています。



紙パックの表示があっても…



牛乳の入った  
紙パック



スープの入った  
紙パック



裏側の色を確認

開いて裏側が

**白色**

だったら



紙パック類に出してください。

開いて裏側が

**銀色**

だったら



燃やせないごみで出してください。

# 花火は安全に楽しく遊びましょう！

もうすぐ子どもたちにとって楽しみな夏休み。ご家族で花火を楽しむ機会も増えることと思います。しかし、気軽に楽しめる花火も取扱いを誤ると、火傷や火災の原因になります。花火を使用する際は次のことを守って、楽しい夏の思い出を作りましょう。



## 花火を安全に遊ぶポイント

- ① 気象条件を考え、風の強いときは花火をしない
- ② 燃えやすいものがなく、広くて安全な場所を選ぶ
- ③ 子どもだけでなく大人と一緒に遊ぶ
- ④ 説明書をよく読み、注意事項を必ず守る
- ⑤ 水バケツを用意し、遊び終わった花火は必ず水につける



SFマークとは、(公社)日本煙火協会が行う検査に合格したおもちゃ花火に付けるマークです。花火を安全に楽しむためにもマーク貼付花火を購入しましょう。

# 危険物の事故に注意しましょう！

私たちの身の回りには、使用方法等を間違えると火災を引き起こす物質（危険物を含む製品）がたくさんありますが、その危険性を意識せずに使用したことによる火災が毎年発生しています。

特に夏場は熱中症などの事故のほかに、危険物による事故が発生しやすい時期でもあります。気温の上昇により危険物が引火しやすい状態になるため、毎年各地で事故が発生しています。

危険物は、ガソリンや灯油などの燃料はもちろん、殺虫剤や着火剤、塗料、マニキュア、各種エアゾール製品など、身近にある製品に多く使用されています。夏場は日常生活やレジャーで危険物を使用する機会も多く、取扱いには特に注意が必要です。

実際に発生した身近な危険物の事故事例をご紹介します。

## 《事故事例》

コンロを使用中、近くで殺虫剤を噴射したところ、殺虫剤に含まれる危険物（第2石油類）に引火し火災が発生した。



## 《予防対策》

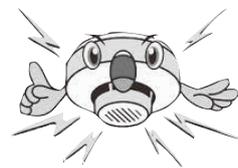
多くの殺虫剤には第1石油類や第2石油類などの危険物が含まれています。霧状に噴射された危険物は特に引火しやすく、注意が必要です。周囲の火気をよく確認してから使用しましょう。



また、不適切なスプレー缶の廃棄による、ゴミ収集車の火災も発生しています。使い終わったスプレー缶は、風通しの良い場所でのガスを出し切り、缶に穴を開けてから資源物に出すようにしましょう。

# 住宅用火災警報器の設置はお済みですか？

大切な命、財産を火災から守るため、決められた場所に必ず設置しましょう。また、住宅用火災警報器は10年を目安に取替えましょう。



## 平成29年 第2回臨時会

平成29年5月26日に開催された第2回臨時会で、次の議案について審議され、原案のとおり可決されました。

- 財産の取得について（救助工作車〔Ⅲ型〕）
- 平成29年度天草広域連合一般会計補正予算（第1号）

### 北消防署 指揮車配備

北消防署に新たに指揮車を配備しました。この車両は、旧大矢野分署が平成28年4月から北消防署となり、3署体制となったことに伴い、署の指揮体制を確立するために配備されたものです。災害時には、災害対応の指揮を執るため、指揮隊を乗せ、災害現場へ出動します。



#### お詫びと訂正

※2017年3月号(37号)の7ページに掲載しました「カセットボンベ、スプレー缶およびライターの捨て方について」のなかで、表示が間違っておりました。お詫び申し上げますとともに下記のとおり訂正させていただきます。

##### ●カセットボンベやスプレー缶の出し方

×誤 「中身を使い切ったら穴を開けて燃やせないごみ袋で出してください。」



○正 「中身を使い切ったら穴を開けて資源物として出してください。」



再生紙を使用しています。

## 天草広域連合

〒863-0001 熊本県天草市本渡町広瀬1687番地2  
TEL : 0969-24-3188  
FAX : 0969-24-2726  
HP <http://amakusa-kouikirengo.or.jp/>